



石田 仁 後援会会報

～21世紀心の時代に元気を！～

NO. 4

平成18年4月 発行

〒503-0933 大垣市外野1丁目461番地1 TEL88-0023

発行責任者 後援会長 青木司朗

新大垣市の更なる発展の為に！

平素から石田仁後援会活動にご理解、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

いよいよ、子育て日本一を目指す、新大垣市がスタートいたしました。しかし、2つの飛び地を持つ変則形態で、新たな諸問題も発生すると考えられる中、小さな市役所、大きなサービスの実現の為に、市議会議員石田仁君は更なる力を発揮してくれるものと期待いたしております。



自宅 白梅前にて

過去3年間の活動を土台に、1期目の最終年を精一杯走り抜ける石田仁議員に、今後とも、皆様の暖かいご指導、ご支援を宜しくお願いいたします。

☆定例議会報告

当選以来、毎回精力的に市政に対し提言してくれております石田仁議員の一般質問を掻い摘んでご報告いたします。

12月定例議会 一般質問 (平成17年12月6日)

① 食育及び学校栄養職員と新給食センターの進捗状況について

《要旨》 食育の推進には、子どもの食に関わる機関を中心に、地域全体での取組みが、必要であり、学校栄養職員のさらなる活躍が期待されるどころだと認識しています。現在、学校巡回等職務に鋭意努力されておりますが、今後、合併等の大きな環境変化が予想される中、学校栄養職員をどのように活用されていくのか。



《福祉部長答弁》 現在学校栄養職員は6名で、献立作成から衛生管理、講演など行っている。食に関する教育は、生涯にわたり心身ともに健康な生活の基礎を培うものであり、今後も児童生徒が望ましい食習慣を身に付けられるよう、活用に努めてまいります。



② 地方債の考え方と対応について

《要旨》 地方債残高は、確実に減少傾向にあるが、一般会計の構成比率を見ると、まだまだ高水準にある中、現在の手法では、公債費が特定期間に集中する事が懸念される。償還の負担を将来の子どもたちに押し付ける事は良いとは考えないが、来年度予算編成に当たり、市債の対応、管理体制はどうなっているのか。

《市長答弁》 市債償還期間につきましては、利率等を考慮し、10年から15年と設定しておりますが、施設耐用年数等鑑み、公債費が特定期間に集中しないよう繰延の借り換えを検討し、市債償還期間を適切な期間に見直すと共に、借入額を抑制し、公債費の早期適正水準化に努力してまいります。尚、毎年の借入金額を35億円程度に抑制する事により、第3次行革目標の公債費比率15%台を平成21年度頃までに、さらに適正水準である10%を平成26年度頃までに達成できると推計いたしており、今後も努力いたしてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

③ 財源確保について

《要旨》 財政逼迫の折、歳出削減は急務だが、今後の健全財政の維持を考えた時、大垣

市としての税を中心とした徴税体制はどうなっているのか。

《総務部長答弁》 大垣市市税等徴収対策会議を本年度設置し、関係各課との連携を図り、取組んでまいりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

3月定例議会 一般質問（平成18年3月6日）

① 地域安心安全情報共有システム事業について

《要旨》 子ども達を巻き込んだ悲惨な事件、事故が後を絶たない中、16年度総務省の所管により「地域安心安全情報共有システム事業」が立ち上がり、我が大垣市も17年度の実証実験を経て、いよいよ18年度「さわやかみまもりネット」として本格運用となりますが、その実施に当たり次の4点について市長のお考えをお聞きしたい。

- 1) 市民への周知方法、PRの仕方
- 2) 個人情報の管理について
- 3) 発信情報の管理について
- 4) さわやかみまもりネットの将来展望について

《生活環境部長答弁》 大垣市個人情報保護条例に基づき、さわやかみまもりネット利用規約を作成し、保護に努めます。「さわやかみまもりネット」の将来展望については、大勢の市民の参加をお願いすると共に、市内にもこのシステムについて十分周知し、安全安心の分野を基本とし他分野も入れた総合的な地域ネットワークの構築を目指してまいります。

② 地産地消推進事業を中心とした大垣市の農政について

《要旨》 地産地消推進事業として「大垣ブランド米育成事業」や「農産物特産品推進事業」など新規事業を立ち上げておられますので、内容を十分検討の上、有効に実施いただきたい。但し、今後の大垣市の農業を考えた時、小手先の施策を数多く並べる前に、市民の食を確保する為に、そして生産者の就労意欲確保の為に、行政がどうリードしていくのか、それには「大垣市農業ドリーム構想基本計画」のようなものを示すべきだと考えるが、いかががお考えでしょうか。

《市長答弁》 「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」や「水田農業ビジョン」を基本として「担い手の育成」「農地集積」「環境保全型の農業」「地産地消」「食育教育」の5つの柱を重点に農業振興に努めている。19年度からの「品目横断的経営

安定対策」等の導入に対し、関係機関、JA等と連携し、足腰の強い大垣農業の確立を図ってまいりたいと思いますのでご理解賜りますようお願いいたします。

尚、一般質問の傍聴ができますので、是非一度、議場へご来場下さい。

更に、インターネットホームページ上にて市議会会議録が閲覧できます。

(<http://www.city.ogaki.lg.jp/sigikai/>)

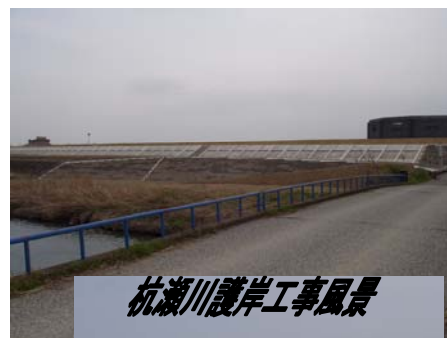
☆ 要望活動並びに、先進都市へ積極的に視察活動

厚生委員会副委員長として、小野市等を訪問し、18年度本格運用の地域安心安全情報共有システムを勉強。また、倉敷中央病院にて、先進情報システムについても視察。合併を控えた1月2月に新しい大垣市を考える為、精力的に上石津町、墨俣町に足を運び特に農業関係について視察しました。先日も完成間近の徳山ダムを視察。改めて大垣市の治水事業に徳山ダムの必要性を痛感し、1日も早い完成をお願いしました。



教育、治水、福祉関係の諸問題につきましては、石田議員の活動の中心的項目であり、常に、積極的に働きかけております。

今後とも、皆様のご意見をいただきながら、各地をまわり、大垣市発展の為に、鋭意努力いたしてまいりますので、お気軽にお声をおかけ下さい。



杭瀬川護岸工事風景



☆ トピックス

1月3日恒例の新年互礼会には大勢の皆様にご来場いただきました事、厚くお礼申し上げます。

(ひとしの日)

昨年1月より毎月14日(公務等で一部変更もありました)午後7時30分から1時間半ほど、事務所で開いている雑談会につきましては、毎月5~10人ほ



どがお集まりいただき、市政報告をさせていただいたり、皆様のご意見ご要望をお聞きしたりと、有意義な勉強をさせていただいております。今後も続けてまいりますので、お気軽にお立ち寄り下さる様、お願いいたします。